

競技者注意事項

1. 本大会は 2019 年度日本陸上競技連盟規則、及び大会競技注意事項によって行う。
2. 招集方法

- ◇ 選手招集所は 100mスタート寄りに設ける。(競技場レイアウト参照)
※ただし、棒高跳の招集は現地(ピット)で行う。
- ◇ 招集の時刻は、競技開始時刻を基準として下記の通りとする。

競技種目	招集開始時刻	招集終了時刻
トラック競技	30 分前	20 分前
フィールド競技 (棒高跳を除く)	40 分前	30 分前
棒高跳 ※ピットにて行う	60 分前	50 分前

- ◇ リレーのオーダー用紙は第1組の招集完了時刻の60分前までに、招集所(競技者係)へ提出する。
(オーダー用紙は招集所(競技者係)及び、本プログラムの最終ページに用意してある)
- ◇ 招集は本人のみで代理人によるものは認めない。ただし種目を兼ねて出場する者で同時に 2 種目行われる者は、その旨を競技者係及び審判員に申し出て、競技の進行に支障の無いようにすること。

3. 競技方法

- ◇ トラック競技のレーン順(800m以上)は上から下で行う。
- ◇ スターターのコマンドは英語で行う。不正スタートを行った競技者は失格とする。
- ◇ 中学男女の 800m予選のスタートはオープンレーンで行う。高校男女の予選のスタートはセパレートレーンで行う。(場合によって1つのレーンに2名入ることがある)
- ◇ トラック種目は写真判定装置を使用して決勝(準決勝)進出者を決定する。同記録の場合は写真を拡大して判定し、それでも判定できない場合は抽選を行う。
- ◇ 高校男子 5000mにおいて 22 分で残り 1 周に達していない者は競技を終了させる。また、高校女子3000mでは 13 分で残り 1 周に達していない者、中学男子3000mでは 12 分で残り 1 周に達していない者は競技を終了させる。
- ◇ 中学低学年リレーおよび中学共通リレーに出場できるのは、申し込み時にエントリーした 4 名以上 6 名以内の競技者のみとする。中学生は、2つのリレーに兼ねてエントリー、出場することができない。中学低学年リレーは 1 年生 2 名、2 年生 2 名で構成する。補欠は 1 年生 1 名まで、2 年生 1 名までとする。
- ◇ リレー種目では、チームで同一のユニフォームを原則とする。ランニングパンツ、スパッツなどは形が不揃いでもよいが、同一色にすること。
- ◇ フィールド競技の試技順はプログラムに示した左側の上から下へ、次に右側の順に行う。
- ◇ 走高跳のバーの高さおよびバーの上げ方は下記の通りとする。

種目		練習	バーの上げ方								以後最後の 1 人に なるまで 3cmきざみ
中 学	男子	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	
	女子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	
高 校	男子	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	
	女子	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	

※練習の高さおよび最初の高さについては、天候の条件や出場選手の状況により変更する場合がある。

- ◇ 中学男女棒高跳、高校男女棒高跳の練習の高さおよびバーの上げ方は、現地(ピット)で決定する。
- ◇ 高校女子三段跳の踏切線は、砂場から 9m地点に設定する。

- ◇ 競技に使用する用器具は、競技場備え付けのものを使用する。ただし、持参した用具の使用を希望する者は、検査を受け許可されたものなら使用できる。
- ◇ 砲丸の重量は下記の通りとする。

種目	重量
高校男子	6.000kg
高校女子	4.000kg
中学男子	5.000kg
中学女子	2.721kg

- ◇ ナンバーカード(縦 18cm 横 24cm)は各自で用意し、胸・背部に確実につけること。ただし、跳躍種目は片方だけでよい。
- ◇トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバーカードを貸与するので、パンツの右側上部、やや後ろにつけること。(リレー競技の場合は第 4 走者だけ使用する)なお、腰ナンバーカードは競技終了後その都度フィニッシュ地点付近で競技役員に返却すること。

4. 得点・表彰

- ◇ 得点 1 位=8 点 2 位=7 点 ……8 位=1 点 とする。 ※オープン種目は得点の対象としない。
- ◇ 表彰 個人:1 位~3 位までに賞状と記念品を、4 位~8 位までに賞状を授与する。各自で表彰係まで取りに来ること。
 優秀選手賞: 優秀選手を決定し、大会最終日に別に表彰する。
 総合:1 位の学校には賞状と優勝杯を、2 位~8 位の学校に賞状を授与する。

5. 競技場のウォームアップについて

- ◇ 周回競技時を除いて第 2 コーナーから第 3 コーナーまでをウォーミングアップエリアとする。
- ◇ ウォーミングアップエリアへの移動の際は、競技の妨げとならないように注意すること。
- ◇ ウォーミングアップの実施にあたっては、審判・役員の指示に従うこと。
- ◇ ウォーミングアップエリアでの応援は禁止する。
- ◇ ハードルの練習時間は以下のように定める。

日付(種目)	練習時間(場合によって変更されることがある)	
22 日(400mH)	8:30~10:20	12:00~12:35
23 日(100mH/110mH)	8:20~8:50	12:00~13:00

6. その他

- ◇ 引率教員がいない場合、大会への出場ができない。 監督権は当該校の教員のみが有する。
- ◇ 学校受付(プログラムの配布)は、第 1 日目朝にフィニッシュゲート外で行う。 プログラム記載内容および領収証を確認すること。(以後は大会本部へ問い合わせること)
- ◇ 毎朝、顧問または代表者による抽選を行い、抽選番号順に代表(2名以内)の入場、その後他の部員および観客の入場を行います。早く並んだ順の入場ではありませんので、早朝に会場に来ることのないようにしてください。守れない学校は以後の大会への参加を認めないことがあります。

会場	開門ゲート	抽選実施時間	開門予定
駒 沢	スタンド正面口	7:20~7:40	8:00

- ◇ プログラムの訂正(氏名、ふりがな、学年、所属等)は 8 時 45 分または遅くとも競技開始時刻の 90 分前までに大会本部に申し出ること。記録確定以後の訂正(賞状・記録証の訂正を含む)には、一切応じない。なお、プログラムの記載事項は申込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。
- ◇ 選手の負傷については、応急処置のみを主催者で行うが、それ以後の責任は負わない。
- ◇ 競技場は全天候舗装のため、スパイクのピンは 9mm 以下(走高跳は 12mm 以下)を使用すること。
- ◇ リレーのスタート用マーク(長さ 40cm 以内・各ゾーン 1カ所のみ)は各チームで用意し、レース終了後は必ず各チームで撤去すること。
- ◇ ゴミ類は必ず自宅まで持ち帰ること。(決して競技場周辺地域や駅などに捨てていかないこと)
- ◇ 撮影には大会本部への申請および許可を必要とする。撮影している方には大会役員(マーシャル)によりお声かけをすることがあります。申請は大会本部(総務)まで。なお、高体連発行の撮影許可書の使用も可とする。
- ◇ ほかに不明の点は、大会本部(総務)まで問い合わせること。